

かくて、有産階級の利害を編定せる経済的、政治的、社會的、文化的諸制度の城塞は金匱湯池の底力を以てわが羊の前途に屹立し勤勞無産階級の解放の公道を遮断してゐるかに見えらる。

しかし視よ！ 難攻不落を装ふこの有産社會の城塞には最早敵の難き幾多の亀裂が露出してゐるではないか。有産者の社會はその矛盾を増大することなしには自からを發展せしめ得ない。即ち、深刻化し行く階級對立と益々激化し行く階級闘争の妖魔の爲めに脅さる、恐れ、慄み、苦しみ、悶えつゝ、あるではないか。

三

同志諸君！

然らば現代の矛盾を解決し此の苦悶より人類を救ひ得るものは誰か。此の光輝ある歴史的偉業こそはわが羊等勤勞無産階級の使命である。まことに、一切の社會的矛盾と苦悶の重疊とを血と肉とによつて担ひつゝあるわが羊勤勞無産階級に於てこそ此の矛盾解決への意欲は見出さるわが羊無産階級の見地に立つ認識に於てこそ此の矛盾の把握と解決への理論は求めらる。わが羊無産階級の團結に於てこそ此の矛盾解決の力は存するのである。

四

同志諸君！
然るに、わが羊等勤勞無産階級は横に、縦に、右に、左に、文字通り、五裂して居るが、わが羊は寧ろ、たゞ